

株式会社愛河調査設計

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>当社の事業目的：技術革新によって新たに生み出される様々なモノを積極的に活用し、次世代でも持続可能な技術サービスを創造する 私たちは土木設計、地理空間情報、各現地の調査・点検を通して、社会基盤（インフラ）を支える一翼を担っています。各地域に広がるこのインフラを、次世代でも安全で安心した暮らしができるよう、私たちは日々、技術サービスを提供し続けています。 将来においても、健全なインフラを守るために、私たちは技術革新によって生み出される様々な技術を活用し、次世代でも持続可能な技術サービスを創造し続けることを使命としています。次世代でも持続可能な技術サービスを作り出すには、社内で働く社員が健康であり、全世代が等しく学べる環境でなければなりません。また、各ハラスメント行為を絶対に許さず、働きやすい環境づくりに力を入れています。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	9, 4, 11	建設現場の全プロセスに情報通信技術（ICT）やドローン、ナローマルチビームソナー等の最新鋭設備を活用して生産性を向上し、建設企業の経営環境を改善、多様な人材が活躍できる現場を目指す取組（i-Construction）に積極的に参画する。	2025年3月末までにi-Construction関連業務の設備導入率を80%以上とする
	社会	3, 4, 8	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症発症率ゼロ及び現場の労働環境改善 ハラスメント行為の防止の為、外部講師による社内研修会を定期的開催 年次休暇取得の徹底のため毎月声掛けを行う 社内でeスポーツ大会を開催し、社内で新しい形の親睦を深める取組みにチャレンジ 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年3月末までに、熱中症対策として空調服の社内着用率を100%に、清涼飲料水の支給を1日2本/人とする 2025年3月末までの通年でハラスメント行為ゼロを目標に、社内研修会受講率を100%とする。 2025年3月末までに、年次有給休暇取得日数を7日以上とする。 2025年3月末までに、社内でのeスポーツ大会参加率を6割以上とする
	環境	7, 13	LED照明への切替を行いエネルギー消費削減に取り組む	2025年3月末までにLED照明の使用率を95%以上とする